

第64回全国建築板金業者大会を 初めて山梨県で開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県板金工業組合

山梨県板金工業組合(宮川理事長)は5月17日、甲府市にあるアイメッセ山梨において、第64回全国建築板金業者山梨大会を開催した。この大会は全国の板金業者との親睦を深め情報交換を図るとともに、業界の維持発展に向けた取り組みなど、団結を誓い合う場として毎年開催されている。

今回、初めて山梨の地で開催されることとなり、組合では大会に向けて平成20年から運営、渉外、編集などの専門委員会を設置し準備を進めてきた。

大会には、全国各地から約3,500名の板金業者が集結し、宮川理事長はあいさつの中で「建築板金業界を取り巻く経営環境は依然厳しい状況下にあるが、卓越した技能・技術を活かすとともに、業者同士が連携し板金業界の総力を結集することで、必ずやこの難局を乗り越えられると確信している。」と力強く語った。また、長年にわたり業界の振興や発展に貢献した者に対して表彰が行われ、本県からは理事長歴6年以上の者に贈られる表彰に宮川理事長が受賞したほか、役員歴が通算10年以上の者に贈られる功労章に安藤和彦氏、中島正氏、田中仁氏の3名が受賞した。また、今年の2月に開催された第34回全国建築板金業者大会建築技術の部(NYAC)で1位となった青年部の武井士氏に国土交通大臣表彰が贈られた。大会の最後に、次回開催の北海道板金工業組合が、参加者に対して歓迎の横断幕を掲げ閉会した。



全国から約3,500名が参加



挨拶を述べる宮川理事長

会場の外では、建築板金の工具、機械の展示販売の出展ブースも設けられ、多くの購買者で賑わった。山梨県の組合は全国と比較すると下から5番目に組合員数が少ない県であるが、組合員が執行部のリーダーシップのもと協力し、組合が一丸となることで無事大会を成功裡に終えることができた。